

令和5年7月 守口市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和5年7月31日

午後1時30分～午後3時28分

○場 所 守口市役所 6階 教育委員会会議室

○出席者

教育長 田 中 実

教育委員

教育長職務代理者 江 端 源 治

委 員 杉 岡 佐 緒 理

委 員 田 中 満 公 子

委 員 古 川 知 子

事 務 局

教育監 森田 大輔 教育部次長兼部長心得 瀬尾 克典

教育総務課長 酒田 宗利 学校教育課長 水野 敦夫

保健給食課長 後藤 勝義 教育センター長 佐々木 幸子

学校教育課参事 中西 崇介 教育総務課長代理 北口 妙美

学校教育課主幹 山口 喜孝 学校教育課主幹 市川 忠樹

教育総務課主任 山下 聡太 教育総務課主任 鮎谷 尚

学校教育課主任 原田 裕子 保健給食課主任 西山 將司

○田中教育長 時間になりました。

ただいまから、教育委員会の定例会を開会いたします。

日程第1「会期について」お諮りいたします。

本日の定例会の会議は、午後 1 時半から午後 5 時半までの 4 時間といたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、会議時間は午後 1 時半から午後 5 時半までの 4 時間といたします。

次の日程に入ります前にお諮りいたします。本日の定例会において、傍聴の申請があり、許可しようと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、傍聴を許可いたします。傍聴は 30 人まで許可することといたします。それでは、傍聴人を入場させてください。

暫時休憩します。

午後 1 3 時 3 1 分 休憩

午後 1 3 時 3 1 分 再開

○田中教育長 休憩を閉じ、委員会を再開します。

傍聴人に対しての諸注意を事務局からお願いします。

○事務局 傍聴人におかれましては、既にお渡ししております守口市教育委員会傍聴規則を熟読の上、遵守していただきますようお願いいたします。以上です。

○田中教育長 次に、日程第 2 「会議録署名委員の指名について」です。

本日の署名委員は『古川委員』を御指名申し上げます。よろしくお願いいたします。

日程第 3 「前回会議録の承認について」お諮りいたします。委員の皆様には、4 月 17 日に開催されました教育委員会 4 月定例会会議録（案）及び、5 月 29 日に開催されました教育委員会 5 月定例会会議録（案）を配付しております。原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、教育委員会 4 月定例会会議録（案）及び 5 月定例

会会議録（案）については承認することといたします。

次の日程の前に、守口市教育委員会会議規則第19条に基づき、会議の運営についてお諮りいたします。円滑な審議の進行のため、審議等の順序を次のようにしたいと考えます。議案第24号、協議事項及び報告事項を済ませた後に、議案第23号を審議します。

また、議案第22号は人事案件でございますので、全ての案件が終了した後に、関係者のみの秘密会にて審議することといたしたいと思っておりますが、以上について御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長 異議なしと認め、本日は、議案第24号、協議事項及び報告事項を済ませた後に、議案第23号を審議し、最後に議案第22号を秘密会にて審議いたします。

日程第6、議案第24号「令和6年度使用中学校教科書用図書の採択について」を議題といたします。説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 議案第24号「令和6年度使用中学校教科用図書の採択について」、説明申し上げます。恐れ入りますが、議案書3ページを御参照願います。教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条並びに同法施行例第15条第1項の規定により、4年間は毎年度科目ごとに同一の教科用図書を採択するものとなっております。本市立中学校及び義務教育学校後期過程で使用している教科用図書は、令和2年度教科書選定委員会規則に基づき採択し、令和3年度から使用しているものであり、令和6年度で4年目となります。従って、令和6年度から使用する教科用図書について、議案書4ページのとおり提案させていただくものでございます。

以上、誠に簡単な説明ではございますが、よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

○田中教育長　ただいまの議案の説明につきまして、何か御意見・御質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、採決いたしたいと思います。議案第24号につきましては、原案どおり決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長　異議なしと認め、議案第24号につきましては原案どおり決定いたしました。

それでは、恐れ入りますが、傍聴人の方は一旦退場をお願いします。

暫時休憩といたします。

午後13時35分　休憩

午後13時36分　再開

○田中教育長　休憩を閉じ、再開いたします。

協議事項に移ります。協議事項1「令和4年度対象　教育委員会の点検・評価に関する報告書（案）について」説明をお願いします。

○鮎谷教育総務課主任　教育長。

○田中教育長　鮎谷教育総務課主任。

○鮎谷教育総務課主任　それでは、「令和4年度対象　教育委員会の点検・評価に関する報告書（案）について」御説明いたします。

教育委員会には、法律により毎年の事務の点検及び評価と結果報告書の作成及び公表が義務づけられております。今般、令和4年度事務を対象とした報告書の素案が完成いたしましたので、教育委員会の皆様に御協議いただくものでございます。素案の作成に当たりまして、事務局で点検・評価検討委員会を開催し、令和4年度のめざす守口の教育に掲げた具体的な取組みの項目をベースとして評価項目を作成すること、

報告書の様式につきましては、基本的には昨年度を踏襲することを決定いたしました。その後、各課で所管部分を作成し、事務局で取りまとめ、現在の素案としております。

続きまして、内容を簡単に御説明させていただきます。議案書6ページから素案を掲載しておりますので御覧ください。議案書9ページと10ページには点検・評価の趣旨や対象と評価方法、学識経験者の紹介、報告書の構成などを記載しております。議案書11ページから12ページにかけては、教育委員会及び関係する市長部局の組織を掲載しております。議案書13ページからは、守口市教育委員会の活動状況として、会議の開催状況と審議案件、教育長及び教育委員の出席行事を記載しております。議案書17ページには、情報発信の一環として会議録を掲載しているwebページと、教育委員会のTwitterにつながる二次元コードを掲載しております。議案書18ページから23ページまでは、令和4年度の教育委員会の取組みを総括的に記載しております。議案書24ページは、教育費の決算を年度別に記載しております。議案書25ページと26ページには、第2次守口市教育大綱の概要を、議案書27ページと28ページには評価のベースとなる令和4年度めざす守口の教育の概要と、本市の教育理念を掲載しております。議案書29ページには、各種計画や点検・評価の関係性と位置づけを説明したものを掲載しております。議案書30ページからは、めざす守口の教育に掲げている5つの基本方針に沿って、個別の重点項目を記載し、それぞれ評価を行う形となっております。例えば、議案書31ページを御覧いただきますと、基本方針1の重点項目1、「健康・体力づくりの充実」の項目がございます。このように、重点項目ごとに目標を示し、その下に目標達成に向けた「主な取組み」を記載し、その右側に「評価」をつけております。その下に、「評価の根拠」を記載して評価に至った具体的な取組みや成果を記載しております。次に、「今後の方向性」として次年度以降どうしていくのかを記載しております。最後に、「学識経験者の意見・助言」を目標ごとに掲載し、図表及び注釈がある場合は重点項目の最後に掲載しております。項目数についてですが、学校教育分野においては、基本方針4つに対して重点項目は

11項目、社会教育分野で基本方針1つに対して重点項目は1項目となっております。目標の個数は、学校教育分野が27項目、社会教育分野が4項目の合計31項目となっております。

今後の日程でございますが、8月8日に学識経験者の上杉先生、赤尾先生をお招きして御意見を伺い、8月中旬を目途に、目標ごとにコメントをいただきます。学識経験者及び教育委員の皆様の見解を反映したものを8月の教育委員会定例会に諮り、御議決をいただければ完成となります。完成した報告書につきましては、9月の守口市議会定例会に上程し、合わせて各施設への設置及びホームページ等をとおして公表する予定となっております。

期間が短く、大変恐縮ではございますが、教育委員の皆様には8月15日を目途に、メールにて御意見等をいただき、最終案に反映させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。誠に簡単な説明でございますが、御協力のほどお願いいたします。以上です。

○田中教育長 説明が終わりました。非常にボリュームが多いということでございますので、各委員の皆様からの御意見は8月15日を目途に教育総務課までお寄せいただければと思います。もし、この場で御意見・御質問がありましたら出していただきたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

次に、協議事項2「令和5年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ（小学生すくすくテスト）の結果の取扱い（案）について」の説明をお願いします。

○原田学校教育課主任 教育長。

○田中教育長 原田学校教育課主任。

○原田学校教育課主任 協議事項2「令和5年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ（小学生すくすくテスト）の結果の取扱い（案）について」御説明します。議案書の98ページから101ページを御参照いただきますようお願いいたします。今年度は、4月18日に全校にて実施しております。結果は、全国学力・学習状

況調査は小学校には7月27日、中学校には8月2日に提供される予定です。すくすくウォッチについては7月14日に提供されております。

内容に入ります前に、全国学力・学習状況調査の結果の取扱いにつきましては、同調査の実施要領に、「市町村教育委員会において、それぞれの判断で、実施要領に定める配慮事項に基づき、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を行うことは可能である」ということや、「市町村教育委員会において個々の学校名を明らかにした結果の公表を行う場合は当該学校と公表内容・方法等について事前に十分相談する。なお、平均正答率等の数値を一覧にしての公表や各学校の順位付けは行わない。」などの配慮事項が示されております。それらを踏まえた内容であるということを御承知おきください。

それでは、内容について御説明します。最初に、基本的な考え方を示した上で、調査結果の取扱いは次のとおりとしております。「1. 市教育委員会の調査結果の公表について」、「市、府、全国の教科に関する調査及び質問紙調査の結果概要を広報誌やホームページを通じて公表」を考えております。参考としまして、机上に令和4年度の公表資料を置かせていただいております。次に、「2. 各学校の調査結果の公表について」は、時期を例年通り10月中を考えております。内容については、次の6点を含めて公表することを考えております。「①調査目的」、「②調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であること」、「③教科に関する調査の平均正答率（平均正答数）」、「④質問紙調査において成果や課題がみられる回答状況（目標値を設定した項目は必須）」、「⑤分析結果」、「⑥分析結果を踏まえた今後の改善方策」、方法につきましては、学校が家庭・地域に対して結果を示すことで、学校・家庭・地域がより一層連携し、取組みを推進する目的から、ホームページ等にて広く結果を公表するのではなく、各校の学校だより等の文書により結果を公表する方法を考えております。

なお、すくすくウォッチについての調査結果の取扱いについても、同様と考えてお

り、取扱う内容につきましては、提供される調査結果に合わせた内容項目に変えております。保護者・地域への説明責任を果たす意味からも、調査の結果の取扱いについては、これまでと同様に慎重に判断していきたいと考えております。100ページに示しておりますとおり、本日、皆様から御質問や御意見をいただき、8月21日の教育委員会定例会で御決定いただきたく存じます。

以上、よろしく御審議いただきますようお願いいたします。

○田中教育長 説明が終わりました。このことに関しまして、御意見・御質問等がございましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

それでは、次に報告事項に移ります。報告事項1「新校のコンセプトについてのアンケート結果について（提言）」の説明をお願いします。

○山下教育総務課主任 教育長。

○田中教育長 山下教育総務課主任。

○山下教育総務課主任 では、報告事項1「新校のコンセプトについてのアンケート結果について（提言）」でございます。議案書103ページを御参照いただきたいと存じます。本事項につきましては、八雲中学校区PTA協議会にて、現在、取組みを進めている八雲中学校区における新しい義務教育学校について、どのような学校にしていきたいかという意見の募集を八雲中学校・八雲小学校・下島小学校の子どもと保護者に対して行い、それをまとめたものを提言書として令和5年7月13日に教育委員会に提出いただいたものでございます。

議案書104ページから106ページに、実際にいただいた御意見が記載されております。非常に多岐にわたり様々な御意見をいただいております。数ある意見につきまして、3つの視点、「1. 子どもの学びがつながる学校」、「2. 子ども同士がつながる学校」、「3. 子どもの周りの人同士がつながる学校」ごとに取りまとめられたものとなっております。教育委員会といたしましては、本提言書を義務教育学校づくりのスタートとして尊重しながら進めていくものとしております。

報告は以上でございます。

○田中教育長 説明が終わりました。このことに関しまして御意見・御質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項2「守口小学校建設にかかる基本設計等について」説明をお願いします。

○山下教育総務課主任 教育長。

○田中教育長 山下教育総務課主任。

○山下教育総務課主任 それでは、報告事項2「守口小学校建設にかかる基本設計等について」ご報告いたします。議案書107ページを御参照いただきたいと思います。守口小学校につきましては現在設計中でございますが、この間教職員や保護者、地域の関係者からの意見を聴取し、これらを踏まえ検討した校舎配置及び各階平面等の基本設計案について取りまとめたものを御報告させていただくものでございます。

まず、施設概要といたしまして、敷地面積が約14,523.81㎡、建築面積が約4,055㎡で、附属棟を含めた延床面積14,459㎡、4階建ての建物となっております。次のページにお進みいただきたいと思います。こちらは配置図となっております。南側に校舎を配置し、北側が運動場という計画となっております。また、平成17年度に建築した校舎を生かしつつ、新たな校舎と連結した建物となっております。それでは、次のページにお進みいただきたいと思います。こちらが1階の平面図です。1階には、職員室等の管理諸室、給食調理場、地域との連携に関する諸室の他、建物の中心に設けました「ナカ広場1」では、会議はもちろんのこと、運動もできる活動スペースとして多目的に活用できるようになっております。次のページをご覧ください。「2階平面図」です。2階は主に普通教室を配置したフロアとなっております。次のページをご覧ください。「3階平面図」です。南側には普通教室を配置し、校舎の北側、体育館を中心に配置し、図書ライブラリ他各種の特別教室を計画し

たフロアとなっております。次のページをご覧ください。「4階平面図」、こちらには普通教室・特別支援教室を配置したフロアとなっております。

配置の計画につきましては以上でございます。

スケジュールについてでございますが、引き続き詳細部分である実施設計を進めるとともに、本施設整備は仮設校舎を使用する計画としております。仮設校舎につきましては、今後10月頃に業者を決定し、本体工事の契約締結を予定しています。来年の夏頃までに、仮設校舎を設置し、現校舎から移転する予定です。その後、令和7年度いっぱい校舎を完成させ、令和8年度から校舎の供用を開始する運びとなる予定です。その後、仮設校舎の撤去、運動場部分の整備を行い、令和8年12月頃に完成を予定しております。以上でございます。

○田中教育長 説明が終わりました。このことに関しまして御意見・御質問等があればお願いいたします。よろしいでしょうか。

他に何か連絡・報告等ございませんでしょうか。よろしいでしょうかね。

それでは、傍聴人を入場させてください。暫時休憩します。

午後13時51分 休憩

午後13時52分 再開

○田中教育長 休憩を閉じ、再開いたします。

それでは、日程第5議案第23号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。

議案第23号の審議をこれから進めてまいりたいと思いますが、その前に、約1か月の間、綿密な調査・研究を行っていただきました調査員の皆様にお礼を申し上げます。また、調査資料を踏まえまして、選定委員の皆様方には、多くの意見を参考にいただきながら、十分に検討し答申をいただきました。大変ありがとうございました。お礼を申し上げます。

審議の前に、答申をいただくまでの経緯を選定委員会から説明をお願いいたします。

○森田教育監 教育長。

○田中教育長 森田教育監。

○森田教育監 答申の作成に当たりましては、まず、教育長からの諮問にあります守口の教科書採択における基本的な4つの視点、1つ目に、学びの過程を重視した教科書、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を踏まえ、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの充実に向けた工夫がある。2つ目に、言語活動の充実につながる教科書、伝え合うこと、書くこと、読むことなど、児童が主体的に考えたり表現したりする工夫がある。3つ目に、自学自習力の育成につながる教科書、家庭等での自学自習を促す工夫がある。4つ目に、本市の特色を生かせる教科書、義務教育9年間の学びの連続性を考慮した記述の工夫や、児童、教員のICT活用の例示やデジタル資料等の添付など、ICT活用の工夫などがあるという観点と、守口市の子どもたちの実態や地域性等も十分に考慮いたしました。また、調査員が調査、研究を行った調査報告書を十分に活用し、さらに教員の意見、府の選定資料等も踏まえ、これらを総合的に協議し、答申を作成、提出いたしました。以上でございます。

○田中教育長 ありがとうございます。

これから審議を進めていく手順についてお諮りしたいと思います。委員の皆様におかれましては、この間事前に全社の教科書を実際に見ていただくなど調査をさせていただいたところです。これからの審議におきましては、全ての発行社の教科書について審議をすることとなりますと膨大なものになります。そこで、原則的には令和5年7月10日に受理しました守口市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会の答申において、最もふさわしいとされた教科書の中から審議していきたいと思いますが、委員各位がこれまで調査された中で、是非この教科書についても審議してほしいという提案がございましたら、それも含めて最終的に1社を決定していくという方法で検討してまいりたいと思います。また、決定に関しましては、全会一致でない場合は投票としたいと思いますが、審議の手順についてなにかございますでしょうか。よろしいでし

ようか。それでは、そのように進めたいと思います。選定委員会の答申の中で、最もふさわしいとされたものと、委員から提案のありましたものについて説明を求めた後に審議を行い、最終的に一つの教科書を採択していきたいと思います。

それでは、ただいまから、国語について答申にある東京書籍と光村図書の中から審議をしたいと思いますが、他に御推薦ございますでしょうか。よろしいですか。ないようでございますので、これら2社について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　　教育長。

○田中教育長　　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　　まず、東京書籍につきまして、全学年で言葉の力を育むことを目標としており、言語活動が充実した教材と学習内容を多く掲載した教科書となっております。また、1年生から音節の動作化や手遊び・リズム遊びなどを取り入れ、言葉への意識を促す系統的な内容を取り扱っております。

次に、光村図書につきまして、1年間で学んだ文学的文章の関連作品が巻末に掲載されているため、読書活動の推奨や、読書の充実につなげることができるものとなっております。また、命について考えることができる教材が多く掲載されており、子どもの命を守るという観点で授業づくりができるものとなっております。

以上、簡単ではございますが、最もふさわしい教科書として選定された2社の教科書の説明とさせていただきます。

○田中教育長　　説明は終わりました。このことにつきまして御意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○古川委員　　光村図書に関して、例えば、4年生の教科書の中で二次元コードを使うといった工夫がされていまして、戦時中の写真を見ることができるとか、当時の様子を想像しやすいというところに、私自身もとても良いなと思いました。

また、東京書籍に関しましては、デジタルノートの作り方が工夫されていますので、子どもの協働的な学びにつながるような内容であるということが評価できるかなと

思いました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。

○田中委員 光村図書の方なんですけれども、本市は図書館を中心とした学びの提供や、本に親しむということを大きな柱として推進しているところなんですけれども、例えば、6年生の教科書の最後の方には、学んだ文学的文章の関連作品というのがまとめて掲載をされておりますし、また、教科書のところどころにも関連して、この本を読もうということで推薦図書が記載をされていますので、子どもたちが学んだところから、さらに学びを広げていく工夫がされているなと感じました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○江端委員 東京書籍さんの教科書でございますが、言葉の力という単元が全学年に設けられておりまして、とても言葉の習得・活用を促すような工夫がされているように感じました。

○田中教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○杉岡委員 作品の後に、この本も読もうみたいに別の作品の紹介などが載ってるんですが、他社も載ってるんですが、光村図書の「この本、読もう」といったところが、見やすいのかなと、子どもたちには分かりやすいのかなと感じました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。

私からも、先ほど古川委員から出た意見と同じですが、光村図書には、戦時中のことに関する資料が二次元コードで示されてるということで、タブレットの活用が図られるということと、当時の様子をすぐに参照できるというのが非常に見やすく良いんじゃないかなと思いました。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それぞれ意見がございましたが、意見を総合いたしますと、光村図書の方が良いというような意見が多かったと思います。こちらを候補としてお諮りいたします。国語の教科書には光村図書を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、国語は光村図書を採用いたします。

次に、書写についてです。答申にある東京書籍と光村図書の中から審議したいと思いますが、他に御推薦はございますでしょうか。ないようでございますので、東京書籍と光村図書について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、東京書籍につきまして、カタカナのミ、漢字の三など、複数の学年で繰り返し似ている文字を取り扱っており、定着を図る工夫がされております。また、左利き児童に対応したページや様々な国の文字を掲載したページなど、児童の多様性に対応した工夫がなされております。

次に、光村図書につきまして、ほぼ全単元に二次元コードが記載されており、タブレット等で学習内容を確認できるようになっております。また、一つの教材で目標を一つ設定し、学習の狙いが明記されており、指導するポイントが明確になっております。

以上、簡単ではございますが、選定された2社の教科書の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ありがとうございます。それでは、この2社の教科書について御意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○古川委員 光村図書の教科書の中で、横書き・ローマ字の学習とか、外国語の表記のところが活動が書かれていまして、こちらの方は子どもたちが学ぶ上で大事な観点かなというふうに評価をしております。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。他に御意見お願いいたします。

○杉岡委員 光村図書なんですけども、表紙にある猫さんが、筆のはらいとかとめなど力の入れ具合なども猫のキャラクターが可愛くイラストで表現してあるので、子

どもたちにも分かりやすく楽しく学べるのではないかというふうに思いました。

○田中教育長　ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○江端委員　選定委員会からの報告にもございましたが、光村図書さんの動画や写真が多くあるということは非常に使いやすい教科書であるというふうに思います。

○田中教育長　ありがとうございます。

○田中委員　私も光村図書ですが、先ほど、杉岡委員が表紙の猫の話をされましたけど、例えば、3年生の表紙の猫の一番下にいる猫は左手で墨をすっておρισして、教科書の中にも左手で書く人へということで写真入りで、右手だけではなく、左手で書く子どもたちへの配慮が随所に見られると思ったところです。

○田中教育長　ありがとうございます。

では、私も意見を申し上げたいと思います。私は、東京書籍の中で、特に1年生2年生で似ている文字を並べて違いを学習するという単元、これが繰り返し学年で掲載されておりますので、分かりにくいところをきちんと丁寧に記載されているなと感じました。

他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、委員の御意見を総合いたしますと光村図書の方が良いようですので、こちらを候補としてお諮りいたします。書写の教科書に光村図書を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長　異議なしと認め、書写は光村図書を採択いたします。

次に、社会についてです。選定された2社から審議をしたいと思いますが、他に御推薦ございますでしょうか。ないようですので、東京書籍と教育出版について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　教育長。

○田中教育長　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　　まず、東京書籍につきまして、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」などのように、時間ごとに学習のカテゴリが区別され、めあてやポイントが見開きに記載されていたり、言葉の欄にキーワードが記載されたりするなど、学習に取り組みやすい工夫がされております。また、情報を生かす様々な産業について取り扱われており、社会の仕組みを捉えることができるものとなっております。次に、教育出版につきまして、1時限ごとの問いが明確で具体的に書かれているため、学習に取り組みやすいものとなっております。また、明治時期や戦中戦後の本来白黒の写真資料がカラー技術で再生されており、児童の興味関心を高める工夫がされています。

以上、簡単ではございますが最もふさわしい教科書として選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長　　説明が終わりました。この2社についての御意見をお願いいたします。

○杉岡委員　　子どもたちのランドセルの重さを考えると、東京書籍さんの本の上下巻に分かれていたりするところは、本当に保護者としてはすごく助かるなと思います。私は東京書籍の方が良いかなと思っています。

○田中教育長　　他にございますでしょうか。

○古川委員　　教育出版ですが、社会では、生活とのつながりが分かりやすい方が良いと思っております。そういう意味では、教育出版の方がそういった工夫がされている感じております。また、東京書籍におかれましては、ここでどういう学び方をするのかを調べたり、まとめたり、そういったことが教科書に分かりやすく示されていて、学ぶときに、子どもたちの目標としやすいと思えました。以上です。

○田中教育長　　ありがとうございます。他に御意見ございますでしょうか。

○江端委員　　選定委員会からの御報告に、教育出版のテキストが、写真やイラストが大きいということ、情報量が多すぎずポイントが絞られているというのを私は重視したいと思います。

○田中教育長　　ありがとうございます。

○田中委員　　教育出版ですけれども、自分で調べて考えるという記載がありまして、調べたこと・学んだことを基に、さらに主体的に学びを押し広げていく上での一つの型を示してくださっているという点では、特徴的だったと思いました。

○田中教育長　　ありがとうございます。

私は、皆さんと重なるところを除いて、5年生の120ページに守口大根の収穫体験の写真が載っております。地元としては非常にありがたいというか、よく気がついていただいているなという気がしましたので、子どもたちにとっても興味関心が高まるのではないかとということで、私は教育出版を評価したいと思います。他にございますでしょうか。

それでは、それぞれ意見が出ましたが、総合いたしますと教育出版の方が良いようなので、こちらを候補としてお諮りいたします。社会の教科書は教育出版を採択したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長　　異議なしと認め、社会は教育出版を採択いたします。

それでは、次に地図について、東京書籍と帝国書院の中から審議をします。こちらは2社のみですので、この中からの審議といたします。

選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　　教育長。

○田中教育長　　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　　まず、東京書籍につきまして、世界各国の動物や料理の紹介、日本の伝統文化などの紹介があり、子どもが身近に感じるものから地図の学習につながる工夫がされております。次に、帝国書院につきまして、地図帳を初めて使う3年生のための学習ページを詳細に掲載しており、地図の導入として取り組みやすいものとなっております。また、原子爆弾に関する資料の記載などもあり、他の教科でも活

用できるものとなっております。

以上、簡単ではございますが、2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長     ありがとうございます。それでは、この2社に関しまして御意見を  
お願いいたします。江端委員。

○江端委員     2社ともに甲乙つけがたい教科書でございますが、私は帝国書院の地  
図の色合いが非常に見やすいと思いましたが、写真の配置も分かりやすいんじゃない  
かと思いました。

○田中教育長     ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○古川委員     どちらもいろいろな工夫がされていると思いましたが、帝国書院は先  
ほどの御説明にもありましたように、3年生からどのように地図を見ていくのかとい  
うことが分かりやすく地図帳が構成されているので、現場としては使いやすいと思  
いました。以上です。

○田中教育長     ありがとうございます。

○杉岡委員     私も、帝国書院の各ページにある地図マスターへの道というちょっと  
したクイズが載っていたりするんですけど、子どもたちも笑ってくれそうなマニアック  
なものが多くて楽しいんじゃないかなと思いました。世界のSDGsというコーナー  
も非常に興味をそそられる内容がたくさん載っていて、子どもたちも、地図なんだけ  
ども色んな学習ができるんじゃないかなと思いました。

○田中教育長     ありがとうございます。他にございますでしょうか。

では、私から、私は帝国書院の索引が色分けで分かりやすいというのと、色に分け  
ることによって興味が湧きやすい工夫がされてるなと感じましたのでこちらを評価し  
たいと思います。

○田中委員     帝国書院の48ページの守口のところに乾電池の挿絵が入っている  
ところが、守口市としては目がいくなと感じました。

○田中教育長     ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

それでは、意見を総合いたしますと帝国書院が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。地図の教科書に帝国書院を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、地図は帝国書院を採択いたします。

次に、算数について答申にある大日本図書、学校図書、教育出版の中から審議をしたいと思います。委員の皆様、他に御推薦はございますでしょうか。それでは、ないようでございますので、3社について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、大日本図書につきまして、算数の大切な考え方として、いつも使う考え方や問題ごとに使い分ける考え方が紹介されており、場面に応じて活用することができるものとなっております。次に、学校図書につきまして、3年生以上は、巻末に回答つきの補充問題が設定されていることに加え、各単元の学習問題の続きに補充問題の案内が示されているため、児童が主体的に学習に取り組める工夫がされております。最後に教育出版につきまして、「学んだことを使おう」のコーナーでは、既習事項として新しく学ぶ内容が系統的に分かりやすく表示されており、子どもの学びが定着するよう工夫されております。

以上、簡単な説明ではございますが、選定された3社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 説明が終わりました。それでは、このことに関しまして御意見を願います。

○古川委員 教育出版ですが、算数に苦手意識を持つ子どもが、学年が上がるごとに増えていくのかなと思っているのですが、先ほど、御説明にもありましたように、最初に既習事項、これまでに学んだことについての確認、算数で使いたい見方・考え方というのが整理されていて、そこから学びを積み重ねる工夫がされていると思いま

した。また、学校図書におきましては、「考え方モンスター」という、子どもが関心を持ちそうな工夫がされているのが興味関心を持たせるのに良いのかなと思いました。以上です。

○田中教育長　ありがとうございます。他に御意見がありましたらお願いいたします。

○江端委員　3社とも良い教科書だと思いますが、面白いなと思ったのが学校図書の教科書でして、〇〇さんの考え方のように、小学校6年生では車が1リットルで何キロ走るのかという考え方と、1キロで何リットル使ったかとかですね、当然その二つの考え方があるわけで、個人的にはすごく面白いなと思いました。

○田中教育長　ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○杉岡委員　本の大きさといえますか、薄さや大きさについてですが、教育出版の本はとてもバランスが良いのかなと思いました。子どもたちに配られているタブレットくらいの大きさで、子どもたちが持ちやすいのかなと感じました。

○田中教育長　ありがとうございます。

○田中教育長　他の御意見と重なるところがありますが、教育出版の方が、「Let's Try」というところで、この数字は英語でなんて言うかなど、子どもたちの興味関心をいろんな角度から揺さぶるような、そういうものがつけられているところが良いなと思いました。

○田中教育長　ありがとうございます。

では、私の意見といたしましては、教育出版の中で、コンパスやものさしなどの用具の使い方について、子どもたちがつまずきやすいポイントについて、動画で用意されているというのが非常に活用しやすく良いなと思いました。また、左利きの場合の使い方もあり、細やかな配慮を感じました。

では、意見を総合いたしますと、教育出版が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。算数の教科書に教育出版を採択したいと思いますが、御異議ござい

ませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、算数は教育出版を採択したいと思います。

次に、理科について答申にある東京書籍と啓林館の中から審議したいと思います。他に御推薦ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、東京書籍と啓林館について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 東京書籍につきまして、各単元の二次元コードから「デジ活」や実験の方法、動画等を見ることができ、特にデジタル版のワークシートはタブレットパソコンに直接書き込むことができるため活用しやすいものとなっております。また、3年生からプログラミングについての記載があり、繰り返し学習できるようとなっております。次に、啓林館につきまして、「くらしとリンク」のページでは、理科の見方や考え方を生活の中で活用する場面が載っており、身近に感じやすい工夫がされております。また、巻末の「オッターの資料室」では様々な分野が整理されて掲載されており、その学年で新しく身につける考え方などが分かりやすく説明されております。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ただいま、理科の2社について選定委員会から説明がございました。このことについて御意見をお願いいたします。

○江端委員 私は東京書籍の、単元の終わりごとにあります「こんなところにも！理科の世界探検部」のコーナーがものすごく理科の楽しさ、どのように生活と関わっているかというところが、非常に良いなど、子どもたちのわくわく、興味を掻き立てる工夫がなされているなと思いました。

○田中教育長 ありがとうございます。

○古川委員　　どちらもいろいろ工夫されているなと思いましたが、私は啓林館の他の教科とどう関連させるかとか、中学校での学びとどうつながっていくのかがきちんと示されていたり、分かりやすくなっているところに着目しました。以上です。

○田中教育長　　ありがとうございます。

○田中委員　　啓林館の方が、理科と技術、理科とアートといった、STEAM教育をしっかりと意識して教科横断型、探求型の学習へつなげていく、そういった観点で書いておられるところが特に印象的でした。以上です。

○田中教育長　　ありがとうございます。

○杉岡委員　　東京書籍に載っている写真が本当に大きくてきれいで見やすく、字もすごく見やすいなと思ったのですが、私は本の大きさが気になってしまいました。啓林館は、見ていると「くらしとリンク」というページが非常に身近に感じる内容を取り扱っていて、子どもたちにとっても理科ってこんなにも身近なものなんだなと感じられるのではないかなと思いましたが、私は啓林館が良いと思いました。

○田中教育長　　ありがとうございます。

では、私からも申し上げたいと思いますが、啓林館についてです。ノートの書き方であったり、まとめ方ということで、自学自習といいますか、子どもたちが自ら取り組みやすい内容となっているところを評価したいと思います。

それぞれ御意見がございましたが、総合いたしますと啓林館の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。理科の教科書には啓林館を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長　　異議なしと認め、理科は啓林館を採択いたします。

もう1時間ほど経過しましたので、ここで10分ほど休憩を入れたいと思います。

14時50分から再開したいと思いますので、暫時休憩とします。

午後14時40分　休憩

午後14時50分 再開

○田中教育長 休憩を閉じ、審議を再開します。

それでは、生活について答申にある東京書籍と啓林館を審議したいと思います。委員の皆様、他に御推薦ございますでしょうか。ないようでございますので、この2社について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、東京書籍につきまして、「春のくらし」、「夏のくらし」、「秋のくらし」、「冬のくらし」では、季節ごとの行事や服装、食べ物などを多く掲載し、季節の移り変わりを自分たちの生活と結びつけて感じ取れるよう工夫されております。次に、啓林館につきまして、各単元が「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の三段階で構成されており、教職員にとっては学びのスパイラルを意識した指導がしやすいものとなっております。また、上巻には「すたあとぶっく」、下巻には「3年生へのステップブック」が付属しており、学びのつながりを意識した工夫がされております。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御意見がございましたらお願いいたします。

○田中委員 啓林館の最後にあります、「3年生へのステップブック」という教科書のページを広げて観音開きのように一列に内側が読めるようになっているのですが、これは幼稚園のときに遡って、これまで学んできたことをつなげて、将来の夢を広げていくような、そういった工夫がなされていて、とても子どもたちにとっては必要なこと、有意義なことではないかなと思いました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○古川委員 啓林館の上巻ですけれども、幼児期に大切にされている遊びの要素を

しっかりと意識して、子ども目線で、小学校でこんなことを学ぶんだということを、わくわく感が出るような工夫がされていることと、あえて教材の中でもおもちゃ作りといったテーマ設定がされているところが興味深いなと思いました。以上です。

○田中教育長　ありがとうございます。他にございますでしょうか。

では、私は東京書籍の方が良いなと思ったところがありまして、それは、季節ごとの行事や服装、食べ物などが多く掲載されてまして、季節の移り変わりというのが生活と結びつけられている、そういった点が非常に工夫されているなと感じましたので、東京書籍を評価したいと思います。

他にございますでしょうか。いかがですか。特に、よろしいでしょうか。

幾つか意見をいただきましたが、総合いたしますと啓林館の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。生活の教科書に啓林館を採択したいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長　異議なしと認め、生活は啓林館を採択いたします。

それでは次に、音楽について答申にある教育出版と教育芸術社の中から審議をしたいと思います。こちらは2社のみですので、委員の方々からの推薦についてはお諮りいたしません。選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　教育長。

○田中教育長　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　まず、教育出版につきまして、日本の歌、みんなの歌が巻末に掲載されており、歌い継いでいくべき楽曲が大切に扱われております。また、英語の歌が各学年に掲載されており、教科横断的な扱いができるものとなっております。

次に、教育芸術社につきまして、学習活動が、教材に沿って具体的に示されており、教員の専門性に関わらず、一定の質を保った授業を行うことができるものとなっております。また、教材の目標が児童に問いかけるような形で具体的に示されていること

で、学習に狙いを持って取り組めるものとなっております。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 説明ありがとうございました。2社についての御意見をお願いいたします。

○江端委員 私は、教育出版の各学年に英語の歌が配置されているのがユニークで面白いと思いました。同じ意味の歌を、日本語で歌うのと英語で歌うのとでは随分と響きも違いますし、興味を持ちやすいのではないかなということで、教育出版の方が良いと思いました。

○田中教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

○古川委員 どちらも工夫されていると思ったのですが、教育芸術社の方が、先ほどの説明にもありましたように、教員の専門性に関わらず一定の質を保ったところで、学ぶポイントが明確に示されていて扱いやすいと思いました。

以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

○杉岡委員 私は、教育芸術社の方に出てくるピクトグラムのイラストがとても目を引いて、学ぶべきポイントが分かりやすいのではないかなと思いました。

○田中教育長 ありがとうございます。

○田中委員 私は、特に教育芸術社の方が音が見える化する努力をしておられると思いましたので、そこを評価したいなと思いました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。

私からも申し上げたいと思います。私は、教育芸術社の方が良いなと思いました。理由は、イラストやキャラクターが統一されていて、親しみやすく、非常に分かりやすいと感じました。

それでは、意見を総合いたしますと、教育芸術社の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。音楽の教科書に教育芸術社を採択したいと思います。御

異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、音楽は教育芸術社を採択いたします。

それでは、ただいまからは図画工作についてです。こちらは2社のみでございます。開隆堂出版と日本文教出版の中から審議をしたいと思っております。選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、開隆堂出版につきまして、工夫・ひらめき・心の3つのキャラクターが全学年、全編に登場し、学習のめあてを楽しく、継続性をもって伝えており、図工の授業に興味関心を持って取り組める工夫が見られます。また、「つながるぞうけい」のコーナーでは、図工と他教科との教科横断的な指導がしやすい工夫がみられます。次に、日本文教出版につきまして、巻頭に見開きで教科書の使い方が図解入りで説明されているので、児童にとって使いやすいものとなっております。また、作品を鑑賞するためのヒントが分かりやすく示されており、児童が感じたことを言葉で表現するために役立つものとなっております。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御意見をいただきたいと思っております。

○杉岡委員 どちらも楽しくて、見ていて素敵だなと思ったのですが、日本文教出版の、表紙が気に入りました。中に異素材や写真を使ったものもあり、自由に表現する楽しさをこの表紙で表しておられるのかなと、表紙にも工夫されてるんだなと感じたので、日本文教出版の方が良いと思っております。

○田中教育長 ありがとうございます。

他に御意見ありましたらお願いいたします。

では、私から申し上げたいと思いますが、日本文教出版の方で、選定委員会からも説明がありましたが、鑑賞のポイントが具体的に示されている点が、子どもたちにとって、非常に分かりやすいことから、日本文教出版を評価したいと思います。

他はいかがでしょうか。よろしいでしょうかね。

それでは、意見を総合いたしますと、日本文教出版の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。図画工作の教科書には、日本文教出版を採択したいと思います。御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、図画工作は日本文教出版を採択いたします。

次に、家庭についてです。こちらも2社のみでございますので、答申にある東京書籍と開隆堂出版の中から審議をいたしたいと思います。選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、東京書籍につきまして、実習の手順を間違えないよう写真等で詳しく記載されており、主体的な学びの実現に向けた工夫が見られます。また、家庭の学習とSDGsのつながり等が記載されており、児童の興味関心を引く工夫がされています。

次に、開隆堂出版につきまして、全ページに記載のある豆知識によって、児童の自学自習を促す工夫がされております。また、様々な職業の方のインタビューが掲載されており、キャリア教育につながる工夫がされております。

以上、2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ありがとうございます。では、委員の皆様からの御意見を願います。

○古川委員 家庭の学びで自分たちがどのように家庭を捉えて考えていくかという

ことが大事なので、グループでの話し合いが、家庭においても大事だと思っておりまして、その辺りの工夫が開隆堂出版ではされているなというところを評価いたしました。以上です。

○田中教育長　ありがとうございます。他に御意見いかがでしょうか。

○江端委員　私は開隆堂出版の、各ページの下にある豆知識は、とても面白いと思います。こういうところで学んだものは忘れにくいのではないかと思いますし、あとは、身近にあるもので、例えば英語で何というかとかですね、そういったことが横に書いてあったりと、自然に学びが広がるのではないかとといったところで、面白さという点では、開隆堂出版が良いと思います。

○田中教育長　ありがとうございます。他いかがでしょうか。

では、私から申し上げたいと思いますが、開隆堂出版の方が、感覚的ですが、文字の大きさですとか、非常に見やすい工夫がなされているなと感じました。感覚的なところなので好みはあるかも分かりませんが、そのような印象があったので、こちらの方を評価したいと思います。

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、意見を総合いたしますと、開隆堂出版の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。家庭の教科書に開隆堂出版を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長　異議なしと認め、家庭は開隆堂出版を採択いたします。

それでは、次に保健について答申の大日本図書と学研教育みらいの中から審議をしたいと思います。他に御推薦、委員の方々からございますでしょうか。ないようでございますので、この2社について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　教育長。

○田中教育長　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　　まず、大日本図書につきまして、図や資料が見やすく分かりやすい配置となっており、特に巻頭の折込みを使うことで主体的な学びの実現に向けた工夫がされています。また、「もっと知りたい！」のコーナーでは、保健に関する知識を幅広く紹介しており、学びを深めることができるようになっています。

次に、学研教育みらいにつきまして、教科書に書き込みながら課題を解決し、学習が進められるように工夫されています。また、単元の初めに学習目標や学習の流れが一目でわかるよう工夫されたページが設けられており、知識・技能の習得に役立つものとなっています。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長　　ありがとうございます。それでは、このことにつきまして御意見を願いたいします。

○杉岡委員　　先ほどの御説明の中にもあったのですが、大日本図書のこの最初の折込みカードですね、これから学ぶことを隠して取り組んでみましょうということで、自分でしっかり考える力が学べるのではないかなと思いました。守口市の子どもにも大変必要な力だと思いますので、私は大日本図書の方が良いと感じました。

○田中教育長　　ありがとうございます。他の御意見ございましたらお願いします。

私からは、大日本図書で、「もっと知りたい！」のコーナーが、さらに学びが深められるような工夫がされていると感じましたので、大日本図書を評価したいと思います。他はいかがでしょう。

○田中委員　　大日本図書の中に、様々な性ということでLGBTQに関しても記載がしっかりとなされているというところが良いなと思いました。以上です。

○田中教育長　　ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、保健に関しまして意見を総合いたしますと、大日本図書の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。保健の教科書に大日本図書を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○田中教育長 異議なしと認め、保健は大日本図書を採用いたします。

次に、英語について選定された東京書籍と光村図書の中から審議したいと思いますが、他に委員の皆様から御推薦ございますでしょうか。ないようでございますので、東京書籍と光村図書について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長 教育長。

○田中教育長 水野学校教育課長。

○水野学校教育課長 まず、東京書籍につきまして、全てのユニットで目標が書かれており、学ぶことが明確になっています。また、全てのユニットの最後に「O v e r t h e H o r i z o n」という項目があり、他教科との横断的な学習につなげやすい工夫がされています。

次に、光村図書につきまして、学年のはじめに目標を細かく示し、自己評価ができるページや「CAN-DO」のリストがあり、学びの振返りがしやすい工夫がされています。また、各学年で扱われている短い物語が読みやすく、内容も環境問題やSDGsにも関連しているもので、教科横断的に活用することもできるものとなっています。

以上、選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御意見をお願いいたします。

○田中委員 光村図書の方ですが、先ほど説明にもありましたように、本市は読書活動に力を入れています。特に光村図書の方では、6年生のところに、おすすめの英語の絵本の紹介をしているところが良いなと思いました。以上です。

○田中教育長 ありがとうございます。

○江端委員 私も光村図書のテキストで、最初に、5年生も6年生も「CAN-DO」のリストですね、英語の時間で何ができるようになりたいかということを中心に

と分かりやすく書いていますので、非常に取り組みやすいのではないかなと思います。

○田中教育長　ありがとうございます。他いかがでしょうか。

私からは、光村図書の中を見ますと、それぞれの違いをうたった詩という紹介があり、お互いのことをよく知るために違いを認め合うという教材となっております。こういうところに人間的な配慮を感じますので、私はこちらの方が良いと思いました。

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、意見を総合いたしますと、光村図書の方が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。英語の教科書に光村図書を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長　異議なしと認め、英語は光村図書を採択いたします。

道徳については、答申にある光村図書と光文書院の中から審議したいと思いますが、他に御推薦ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、道徳につきましては光村図書と光文書院について選定委員会から説明をお願いします。

○水野学校教育課長　教育長。

○田中教育長　水野学校教育課長。

○水野学校教育課長　まず、光村図書につきまして、2年生以上の学年で話し合うためのコツのページが設けられており、話し合い活動を重視したものとなっています。また、学年最初の教材で道徳の学び方を掲載し、教材との向合い方について丁寧に説明しており、学習に取り組みやすくなっています。

次に、光文書院につきまして、教材について考える際に絵や図を使って考えたり、話し合ったりと様々な方法が紹介されており、学習に取り組みやすい工夫がされています。また、注目すべき登場人物を始めに整理して表記しているため、考えやすいものとなっています。

以上、最もふさわしい教科書として選定された2社の説明とさせていただきます。

○田中教育長　　ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御意見をいただきたいと思います。

○古川委員　　どちらも工夫されてると思いましたが、道徳も話し合っって人の意見を聞くことがとても大事なので、ポイントがずれないように光村図書の構成が良いのではないかと思いました。以上です。

○田中教育長　　ありがとうございます。他いかがでしょうか。

○江端委員　　光村図書の前ページにふきだしのようなものがありましたよね。そこに児童が自分だったらどう考えるかなっていうことをためらわずに吹き流すような語りかけが私は良いなと思いました。

○田中教育長　　ありがとうございます。他いかがでしょうか。

○杉岡委員　　光村図書の方が、今の守口市の子どもたちにとって身近に感じられるような題材が多いのかなと感じました。あと、中のコーナーで「なんだろうなんだろう」というヨシタケシンスケさんの作品が載っているのですが、こちらのページはイラストで分かりやすく書いてあって、自問自答できるような、簡単に自分を振り返ることが出来るようなページなのかなと感じていて、とても面白いなと思いましたので、光村図書を推したいと思います。

○田中教育長　　ありがとうございます。

　　実は私もこの「なんだろうなんだろう」がすごく気になっていました。各学年にあるので、学年ごとの成長の度合いに応じて考えられているなと思いました。他よろしいでしょうか。

　　それでは、意見を総合いたしますと、光村図書が良いようです。こちらを候補としてお諮りいたします。道徳の教科書に光村図書を採択したいと思いますが御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長　　異議なしと認め、道徳は光村図書を採択いたします。

以上で、全ての採択が終了いたしました。ありがとうございました。

なお、今後につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、大阪府教育委員会により守口市地区として採択地区を設置されております本市については、本日の結果を大阪府教育委員会へ報告いたします。その後、大阪府から文部科学省へ報告がなされ、来年度4月に本市の小学校及び義務教育学校の児童の手に新たな教科書が渡るということとなります。

市教育委員会といたしましては、今後も市の重要課題である学力向上に向け主たる教材である教科書を教員が工夫を凝らしながら活用を進めることができるかということに視点を持ち続け、各学校への支援、指導、助言に努めてまいりたいと考えます。本議案に関しては以上でございます。

それでは、議案第22号を残しておりますので、これから関係者のみで秘密会を行います。関係者以外は、退出いただいて結構です。暫時休憩いたします。

(秘密会)

○田中教育長　休憩を閉じ、委員会を再開いたします。

それでは本日の定例会を閉会します。

閉会　午後15時28分